

令和7年度議会運営委員会行政視察研修報告書

- 1 目的 適正かつ円滑な議会運営と議会の機能強化に資するため
- 2 実施日 令和7年10月6日（月）～8日（水）
- 3 観察地 北海道登別市議会
北海道小樽市議会
北海道石狩市議会
- 4 観察内容 議会基本条例と議会改革の取り組みについて
- 5 参加者 委員長 渋井 康男
副委員長 石岡 祐二
委員 永井 孝叔
委員 若見 孝信
委員 鈴木 恒充
委員 角田 憲治
議長 岡村 浩雅
副議長 加藤 誠一
(随行) 議会事務局長 鈴木 克芳
議事課長 松本 建一

北海道登別市議会

視察日 令和7年10月6日（月）

1 登別市の概要

登別市は、北海道南部に位置し、太平洋と内陸の山々に囲まれた風光明媚な地域です。市内には歴史ある温泉地、地獄谷など各種観光名所が点在し、国内外から多くの訪問客が訪れています。豊かな自然環境は林業や農業の発展を支え、市民の生活基盤ともなっています。伝統と先端技術が融合する地域社会は、温かい人情と活気に満ち、魅力あふれるまちづくりが進められています。

人口 44,451人 面積 212.21 km²
議員定数 19人 会派 4会派

2 観察内容

登別市議会の観察では、登別市議会における議会改革の実例を中心に、多様な制度・取り組みについて説明を受けました。議会基本条例の制定では、「基本条例チェックシート」と「議員自己評価表」を活用し、議員自らが施策の効果や課題を検証できる体制が整備されていること、オンライン委員会の導入やコンプライアンス強化の取り組みは、デジタル技術の活用による効率化と透明性向上に寄与しており、非常時における柔軟な運営が期待されます。

議会フォーラムは、議員間の意見交換や最新の行政情報の共有の場として好評を博しており、これに加えて市民や専門家が参加する議会サポーター制度（市民サポーター）の導入が議会運営に新たな視点をもたらしています。また、議会図書室内にベビーサークルや乳幼児図書館を配置するなど、幅広い市民ニーズへの対応も図られており、オンライン一般質問はインフルエンザなどの感染症リスクを踏まえた新たな試みとして実施されています。さらに、議会事務局職員提案制度では、「議長交際費」を「議会交際費」へ見直すことで、議会全体の透明性や市民の信頼向上に向けた具体策が議論されるなど、各施策が連動して議会改革を推進している現状が行なわれていました。

研修では、議会改革の取り組みについて説明を受けた後、質疑応答及び意見交換会を行なった。

3 所感

観察を通じて、登別市における議会改革の多角的な取り組みからは、地域行政の未来を切り開くための熱意と挑戦の姿勢を強く感じました。

特に、議会事務局による政策提案では、現状を客観的に捉え、具体的な改善策を自ら提示するなど、市民目線の透明性向上に直結していると実感しました。従来の議長交際費から議会交際費への見直しは、単なる経費管理の変更に留まらず、議会全体の公平性と市民の信頼を高めるための重要な施策であると評価されます。さらに、議会サポーター制度の導入は、市民や専門家の知見を取り入れ、従来の閉鎖的な議会運営を開かれたものへとシフトさせる好例です。議会フォーラムやパブリックコメントを通じて、各種意見を反映する仕組みが確立される一方、オンライン一般質問といったデジタル技術の活用は、災害や感染症など緊急時における議会の柔軟な対応を可能とし、現代社会に求められる迅速かつ透明な情報共有のあり方を示しています。これから取り組みとしては、各施策の連携をより一層強化し、議会と市民が一体となった議論の深化、さらには新技術の導入による業務プロセスの最適化が求められると考えます。

多様な議員が互いに意見を交わし、専門家や市民の参加を促進することで、従来の枠にとらわれない革新的な政策形成が実現されると思われます。今回の観察を通じ、議会改革の一端を担う者として、制度の有効活用だけでなく、より多く

の市民参加を促す取り組みについても検討を深めることができた。今後、これらの実践例を参考にしながら、さくら市議会においても開かれた議会運営と市民との対話をより強固なものにするため、具体的な施策提案とその実行に努めさらなる改善に役立てたいと思います。



研修の様子



登別市議会議場にて

北海道小樽市議会

視察日 令和7年10月7日（火）

1 小樽市の概要

小樽市は北海道西部に位置し、歴史ある港湾都市として発展してきました。風情ある運河沿いの倉庫群や石造りの建築が観光資源となり、市内は伝統と現代性が融合した街並みが広がります。経済面では水産業や観光業が基幹産業で、地域活性化に向けた取り組みが進んでいます。

| | | | |
|------|----------|----|------------------------|
| 人口 | 106,507人 | 面積 | 243.87 km ² |
| 議員定数 | 25人 | 会派 | 5会派 |

2 視察内容

小樽市議会では、「議会改革の取り組み」に関する先進的な事例について、議会改革の一環、議会ルールの見直し、市民との連携強化、そして議員の資質や働き方改革に向けた具体策等が説明されました。特に、議会活性化推進会議（第2次）の議事録を活用した実証実験や、条例・規則の検索強化を目指した「議事録検索システムぎーみる」の試行結果、システム導入の背景や運用上の工夫、今後の改善点が詳細に報告され、意見交換が行われました。さらに、オンライン議会の実施により、議会運営の柔軟性や市民参加の拡大が模索されている点や、代表質問

および一般質問のデータ一括配布の取り組みについても説明があり、これらの施策が議会の透明性向上に寄与するとの認識が共有されました。

研修を通じ、議会改革に伴う課題として、システム導入後の運用体制の確立、市民への情報発信のさらなる充実、そして従来の慣行との対立点が整理され、今後の取組みへの具体的な示唆を得る場となりました。また、議員と市民の直接対話を促進する懇談会実施委員会の活動状況も紹介され、地域に根付く議会活性化の多角的なアプローチが印象的でした。

研修では、議会改革の取り組みについて説明を受けた後、質疑応答及び意見交換会を行なった。

3 所感

小樽市議会が取り組む議会改革の先進的な試みは、大いに刺激となりました。まず、議会ルールの見直しや議事録検索システムの実証実験により、透明性と効率性の向上を目指す具体的な手法が紹介され、従来の議会運営の在り方を再考する必要性を痛感いたしました。オンライン議会の導入により、議論の柔軟性や迅速な情報共有が可能となる一方で、対面での議論が持つ深い連帯感や信頼醸成の側面とのバランスが課題として浮き彫りになったのも印象的でした。加えて、代表質問や一般質問のデータ一括配布という施策は、市民への情報提供の透明度を高める有効な手段として評価される一方、データの整理や活用方法については今後の議会運営における改善が求められることと感じた。これらの取り組みは、既存の制度・慣行との摩擦を伴う部分もあるため、段階的かつ柔軟な運用が必要とされる。さらに、市民と議員が直接意見交換する懇談会の実施は、市民参加型の議会を実現するための重要な一歩と捉えています。今回得た知見は、議会改革推進に向けた取り組みに当たり、政策のブラッシュアップや新たな試みの検討に大いに活かすことができると思います。全体として、視察は議会改革に必要な課題と可能性の双方を浮き彫りにし、今後の議会運営の改善と市民参加の拡大に向けた意識改革の契機となったと感じ、そのモデルを参考にしながら、より良い議会運営が必要が感じられた。



研修の様子



小樽市議会議場にて

北海道石狩市議会

視察日 令和7年10月8日（水）

1 石狩市の概要

石狩市は、北海道の南部に位置し、かつて漁業を中心とした活発な港町として発展し、広大な平野と美しい海岸線が広がり、豊かな自然環境を背景に農業や水産業も盛んです。また、近年は都市機能の向上とともに、行政サービスや地域振興が進み、住民の生活の質向上に努めている。歴史や伝統を尊重しながらも、現代的なまちづくりが追求され、地域経済の活性化や住民参加型の政治活動が特徴です。

| | | | |
|------|---------|----|------------------------|
| 人口 | 57,645人 | 面積 | 722.33 km ² |
| 議員定数 | 20人 | 会派 | 4会派 |

2 観察内容

石狩市では、「議会改革の取り組み」について、石狩市議会における先進的な取り組みを中心に観察を行なった。

はじめに、石狩市議会ハラスメント防止条例の制定背景や運用状況について、市議会内部での意識改革とともに、職員・議員双方が安心して意見交換できる仕組みが実現されていた。

条例は具体的な事例を交えながら策定され、早期対応や加害防止、被害者支援の体制が整えられていた。

続いて、議員間討議の場では、議題ごとに様々な視点が交錯し、活発かつ建設的な議論が行われている現状が紹介され、対話の過程においては、互いの意見を尊重し、合意形成へ向けたプロセスが透明に運用されている点が評価され、議会改革の模範例としての側面が強調された。

さらに、定期的に開催される議会報告会により、住民に対する情報開示と説明責任の履行が図られており、市政運営の信頼性向上に結びついているという説明があった。

最後に、質疑応答の時間も設けられ、実務に従事する担当者から事例が共有され、今後の議会改革に向けたヒントを得る貴重な機会であった。

3 所感

石狩市議会の観察を通じて、議会改革に向けた具体的な取り組みが実施されている。特に、ハラスメント防止条例の制定は、議会内部の環境改善に向けた重要な第一歩であり、職員や議員の働きやすい環境づくりに寄与していると感じた。

また、議員間討議が活発に行われていることで、多様な意見が反映され、より良い

政策提案がなされることが期待できる。

議会報告会を通じて、市民との対話を重視する姿勢も印象的であり、市民が議会に対して持つ信頼感を高めるためにも、こうした取り組みを継続していく必要がある。石狩市の議会改革の事例は、他の自治体にとっても参考となり、積極的な取り組みが活発な議会活動を生み、議会運営における改善となると感じた。



研修の様子



石狩市議会議場にて